

すっかり秋ですね



朝夕がすっかり寒くなり、秋だなあと感じられる気候になってきました。校内でも、咳をしている子や鼻水が出ている子が増えてきました。今年は夏休み明けからインフルエンザの流行が報告され、近隣校では学級閉鎖もありました。季節の変わり目には、気温の変化に対応していくことが大切です。その日の天候にあった服装をするようにしたり、手洗いうがいをこまめにしたりするなどして、体調管理には十分お気を付けてください。私も、我が子のインフルエンザワクチンを予約しましたが、接種前に罹患しないよう気を付けて過ごしたいところです。過ごしやすい秋の気候を、ゆったりと楽しめますように！



日本スポーツ振興センター の手続き、忘れていませんか？



毎年4月に全校児童が“日本スポーツ振興センター”に加入しています。学校管理下で負傷して、医療機関を受診した場合は、災害給付手続きをすることができます。次に、該当する人はいませんか？

- 病院で記入してもらった“医療等の状況”をまだ学校へ提出していない
- 学校でケガをして病院で治療を受けたが、学校へ連絡していない

※上記に該当する方は、学校へ御連絡ください。

【いつの災害】

- ①授業中 ②教育計画に基づく課外活動中
- ③休憩時間中 ④通常の経路および方法による通学中

【給付の対象金額】

初診から治癒までの医療点数が500点以上

※生活保護世帯の医療費や医療保険以外の治療費など、給付の対象にならないものもありますので、詳しくは保健室までお問い合わせください。



◆10月6日は二計測です

4月の計測と比べて、どれくらい大きくなったのか、自分の成長を確認する機会です。以下の御協力をお願いいたします。

- ☆頭の上や後ろで髪をしばらないでください。
- ☆靴下を脱いで測定します。タイツの着用は避けてください。
- ☆着衣のまま行います。できるだけ軽い着衣となるよう御協力ください。

◆成長曲線を作成します

二計測の結果を、子どもたちが記録用紙に転記して、御家庭へ持ち帰ります。検査の結果を受け、成長曲線を御希望される方は、保健室まで御連絡ください。



インフルエンザについて

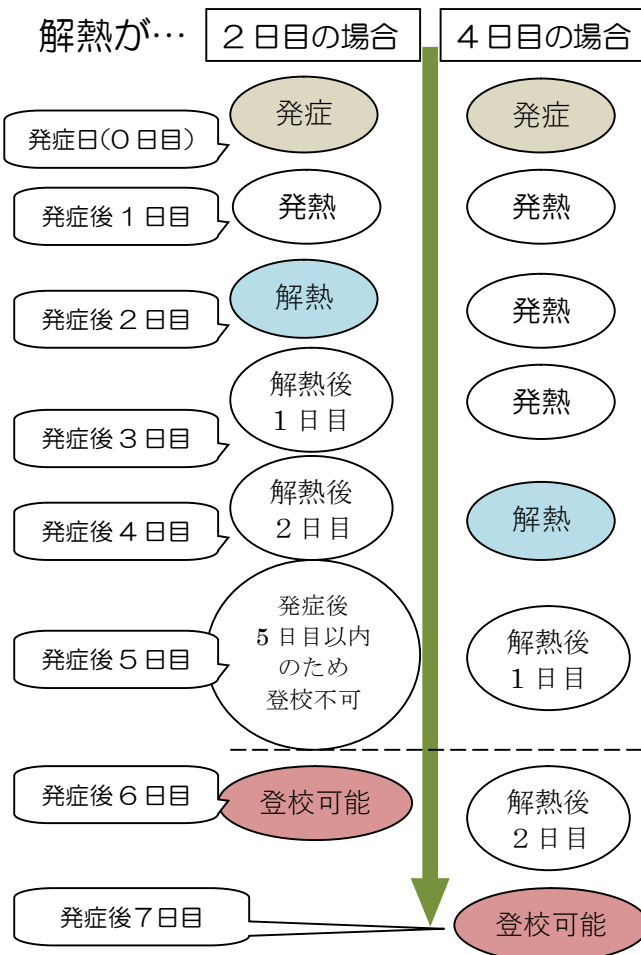


インフルエンザの基礎知識

- ◆病原体：インフルエンザウイルス
- ◆感染経路：飛沫感染・接触感染
- ◆流行期：12月～4月
- ◆潜伏期間：通常は1～3日
- ◆主な症状：急な発熱・高熱・頭痛・筋肉痛・関節痛・倦怠感・咽頭痛・悪寒など

インフルエンザの出席停止期間の基準は「**発症した後 5 日を経過し、かつ、解熱した後 2 日を経過するまで**」（学校保健安全法施行規則第19条）です。抗インフルエンザ薬の効果で熱が下がっても、インフルエンザウイルスの感染力はしばらくの間残っています。また、インフルエンザではいったん熱が下がっても、再び発熱することがあります。右の図を御確認の上、出席停止期間に従ってください。

感染力が弱まるまで登校を控えることで、インフルエンザのまん延を防ぐことになります。よろしくお願いいたします。



こんな薬の飲み方は、NG です！

カプセルを開ける
錠剤をかみくだく



薬によっては、効き方が変わることがあるため、勝手に開けたりくだいたりしない。

家族や友達の薬を
もらって飲む



薬は年齢・体重・病気に合わせて処方されているため、他人の薬を飲むのは NG。

水以外の飲み物で
薬を飲む



飲み物によっては薬の効き方に影響するため、基本は水またはぬるま湯で飲む。

飲み忘れたので、
次にまとめて飲む



飲み忘れても、2 回分をまとめて飲まない。説明書や薬剤師・医師の指示を確認。